



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所  
コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 秀明  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画室長 (氏名) 小島 真也

TEL 06-6538-7724

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,862	△6.6	△391	—	△593	—	△683	—
23年3月期第1四半期	19,134	△17.7	△16	—	△288	—	△277	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △835百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,327百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△5.17	—
23年3月期第1四半期	△2.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	118,475	39,189	32.9
23年3月期	123,849	40,291	32.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 38,924百万円 23年3月期 40,017百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	△4.0	200	△72.1	△300	—	△300	—	△2.27
通期	94,000	△1.0	2,800	△19.8	1,800	△34.1	1,000	△32.3	7.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	133,984,908 株	23年3月期	133,984,908 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,770,913 株	23年3月期	1,770,534 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	132,214,044 株	23年3月期1Q	132,216,934 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済の状況は、東日本大震災の影響により電力供給の制限、経済活動の鈍化に加え、円高、資源高傾向が継続するなど、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループの当連結会計年度の業績は鉄管部門で出荷が順調であったものの、機械部門で海外向けの粉体機器が大幅に減少、また、厳しい業界環境下で建材部門他で需要が減少したことなどにより、売上高は前第1四半期連結累計期間比1,271百万円減収の17,862百万円となりました。

利益面では原価改善をはじめ、管理販売費の削減につとめたものの、減収による減益に加え、原材料の高騰などにより、営業損失は391百万円(前第1四半期連結累計期間比374百万円減益)、経常損失は593百万円(前第1四半期連結累計期間比304百万円減益)となりました。また、四半期純損失は、特別利益として有価証券の売却益、特別損失として有価証券の評価損他を計上したことにより683百万円(前第1四半期連結累計期間比406百万円減益)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、機種ごとの統廃合を行ったバルブ部門の売上が減少した反面、鉄管部門におきまして小口径管の前倒し発注、大口径管の出荷が順調であったことなどにより、前第1四半期連結累計期間比173百万円増収の10,455百万円となりました。

営業損益につきましては、バルブ部門において収益改善が実施されたものの、鉄管部門で原材料高騰の影響により、前第1四半期連結累計期間比36百万円減益の108百万円の営業損失となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、素形材部門において鉄道用ブレーキディスクなどで売上を伸ばしたものの、機械部門において、海外向けの粉体機器が大幅に減少したことに加え、過年度の自動車業界を中心とした設備投資の急激な抑制の影響で鍛压机の売上高が減少したことなどにより、前第1四半期連結累計期間比1,286百万円減収の3,135百万円となりました。

営業損益につきましては、減収の影響が大きく、前第1四半期連結累計期間比143百万円減益の228百万円の営業損失となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門において、首都圏の大型オフィスビル建設が本格化したことにより、空調、建築製品は増加したものの、消音製品の出荷は減少しました。また、化成品部門においても、国営農水分野向けの出荷が増加したものの、震災影響による電力会社からの電力管の減少などにより、前第1四半期連結累計期間比158百万円減収の4,272百万円となりました。

営業損益につきましては、コストダウンに注力したものの、亜鉛鉄板、樹脂関係原料の値上げ幅がこれを上回り、前第1四半期連結累計期間比40百万円減益の0百万円の営業利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品、仕掛品などが増加した反面、受取手形及び売掛金などの減少により、前連結会計年度末比5,373百万円減少の118,475百万円となりました。

一方、負債におきましては支払手形及び買掛金、短期借入金などの減少により、前連結会計年度末比4,271百万円減少の79,286百万円となりました。

純資産におきましては、四半期純損失、その他有価証券評価差額金などの減少により、前連結会計年度末比1,101百万円減少の39,189百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より20百万円増加の16,620百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は3,227百万円となりました。これは売上債権の減少による資金の増加、たな卸資産の増加による資金の減少、仕入債務の減少による資金の減少などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は228百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は2,970百万円となりました。これは主に短期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想は平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,627	16,648
受取手形及び売掛金	36,044	28,532
商品及び製品	7,756	8,733
仕掛品	4,930	6,671
原材料及び貯蔵品	2,061	2,047
その他	1,552	1,684
貸倒引当金	△206	△201
流動資産合計	68,767	64,116
固定資産		
有形固定資産		
土地	24,484	24,484
その他(純額)	17,076	16,945
有形固定資産合計	41,560	41,429
無形固定資産		
その他	376	339
無形固定資産合計	376	339
投資その他の資産		
投資有価証券	10,146	9,746
その他	4,068	3,582
貸倒引当金	△1,071	△738
投資その他の資産合計	13,144	12,590
固定資産合計	55,081	54,359
資産合計	123,849	118,475

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,410	20,466
短期借入金	29,407	27,405
1年内返済予定の長期借入金	18,714	18,151
未払法人税等	269	191
引当金	1,776	949
その他	4,628	5,795
流動負債合計	77,206	72,959
固定負債		
社債	44	44
長期借入金	1,108	961
退職給付引当金	3,348	3,517
その他の引当金	744	722
その他	1,106	1,081
固定負債合計	6,352	6,327
負債合計	83,558	79,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,959	6,959
利益剰余金	2,218	1,270
自己株式	△385	△385
株主資本合計	39,979	39,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	△105
繰延ヘッジ損益	—	0
その他の包括利益累計額合計	38	△105
少数株主持分	273	264
純資産合計	40,291	39,189
負債純資産合計	123,849	118,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	19,134	17,862
売上原価	14,676	13,949
売上総利益	4,458	3,913
販売費及び一般管理費	4,474	4,304
営業損失(△)	△16	△391
営業外収益		
受取配当金	15	40
不動産賃貸料	35	34
その他	148	51
営業外収益合計	199	126
営業外費用		
支払利息	212	180
その他	259	147
営業外費用合計	471	328
経常損失(△)	△288	△593
特別利益		
投資有価証券売却益	24	27
貸倒引当金戻入額	36	—
環境対策引当金戻入額	38	—
その他	2	—
特別利益合計	102	27
特別損失		
投資有価証券評価損	19	193
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	101	—
その他	55	0
特別損失合計	176	193
税金等調整前四半期純損失(△)	△362	△759
法人税、住民税及び事業税	84	90
法人税等調整額	△153	△158
法人税等合計	△68	△68
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△293	△691
少数株主損失(△)	△16	△7
四半期純損失(△)	△277	△683



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△293	△691
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,033	△144
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益合計	△1,033	△144
四半期包括利益	△1,327	△835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,311	△828
少数株主に係る四半期包括利益	△16	△7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△362	△759
減価償却費	592	559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49	△337
受取利息及び受取配当金	△19	△42
支払利息	212	180
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	10	—
売上債権の増減額(△は増加)	10,202	8,435
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,174	△2,703
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,314	△1,931
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△686	168
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△22	△27
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	19	193
関係会社株式売却損益(△は益)	14	—
有形及び無形固定資産除却損	9	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	101	—
その他	△132	△416
小計	4,401	3,322
利息及び配当金の受取額	170	190
利息の支払額	△208	△178
法人税等の支払額	△412	△107
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,950	3,227
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1	△1
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	68	67
有形及び無形固定資産の取得による支出	△493	△364
有形及び無形固定資産の売却による収入	653	0
関係会社株式の売却による収入	5	—
貸付金の回収による収入	11	9
その他	23	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	267	△228
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,772	△2,002
リース債務の返済による支出	△8	△10
長期借入金の返済による支出	△662	△709
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△246
少数株主への配当金の支払額	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,446	△2,970
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,670	20
現金及び現金同等物の期首残高	14,891	16,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,561	16,620

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,281	4,421	4,430	19,134	—	19,134
セグメント間の内部売上 高又は振替高	22	0	110	132	△132	—
計	10,303	4,422	4,540	19,267	△132	19,134
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△71	△84	41	△115	98	△16

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額98百万円には、セグメント間取引消去61百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額70百万円及びたな卸資産の調整額△33百万円が含まれています。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,455	3,135	4,272	17,862	—	17,862
セグメント間の内部売上 高又は振替高	18	—	125	143	△143	—
計	10,473	3,135	4,397	18,006	△143	17,862
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△108	△228	0	△336	△54	△391

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△54百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額△22百万円及びたな卸資産の調整額△44百万円が含まれています。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。